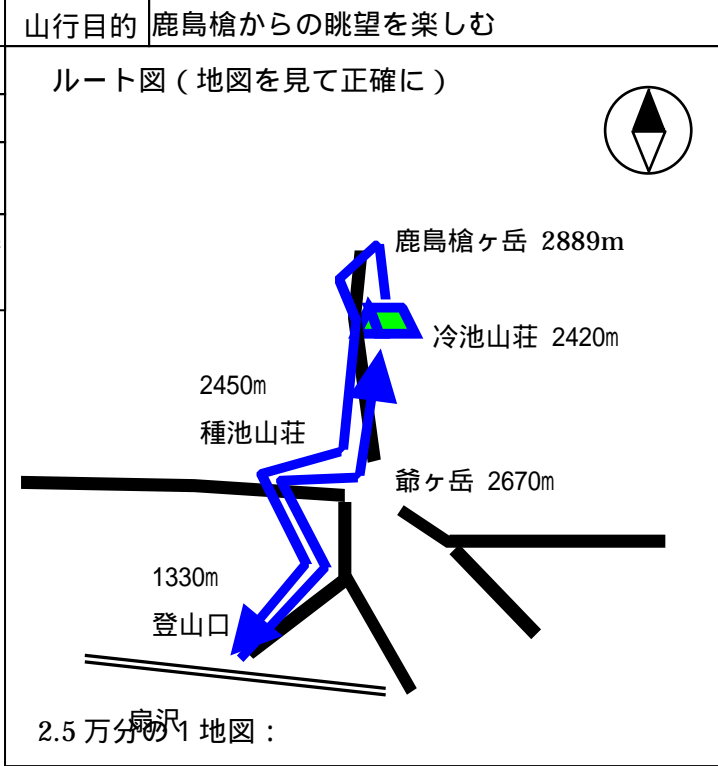


07 月度 <b>例会</b> <b>山行報告書</b>		報告者	天野	参加 メンバー	CL:岸上
個人		報告日	08 / 18		SL:伊藤千 杉本 天野
山 域	北アルプス	山行日	10 年 07 月 09 日(金) ~		
山 名	鹿島槍ヶ岳		10 年 07 月 11 日(日)		
山行目的	鹿島槍からの眺望を楽しむ		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者



7/09(金)雨のち晴れ 20:00 N1 駐車場発 7/10(土)曇り時々晴れ 00:30 道の駅松川着 05:00 起床 06:00 登山口駐車場着 06:30 登山口駐車場発 07:20 一本(10分) 08:15 一本(10分) 09:00 一本(10分) 09:50 種池山荘(20分) 10:57 爺ヶ岳南峰 11:15 爺ヶ岳中峰(15分) 12:20 一本(10分) 12:30 冷池山荘 13:00 ティ場着 20:00 就寝	7/10(土)曇りのち雨 04:00 起床 05:30 ティ場発 06:10 布引山 06:18 一本(10分)ヒーク 06:45 鹿島槍頂上 07:55 ティ場着 08:10 ティ場発 09:25 一本(10分)爺手前 10:10 種池山荘(15分) 11:17 一本(10分) 12:00 一本(10分) 12:35 登山口駐車場着 ~ 上原(わっぱら)温泉 ~ 18:00 部室着
--	---

山行報告 N1 駐車場に集合し、食糧を買い込み出発。道の駅で仮眠を取り、扇沢駅近くの登山口駐車場を確保する。登山口からは整備された道(柏原新道)をひたすら登る。途中いわかみなどの高山植物が出迎えてくれ、疲れが少し和らいだ。雪渓のあるガレ場を過ぎ、稜線にでると種池山荘だ。一服すると、南に蓮華岳・針ノ木岳の頂上が見え隠れしている。北を見ると、爺ヶ岳への登山道・ティ場の冷池山荘が見え後半分の道のりを思いやる。ここから天野がトップを行く。雪渓を渡りハイマツ・石楠花の間をしばらく歩くと、爺ヶ岳南峰に到着した。西方正面に格好いい山が見え、地図を広げていると地元の登山者が「劔岳」と教えてくれる。昨年の夏合宿での感想を語り合う。改めて見渡すと、立山・遠くに槍ヶ岳も見え最高の眺望。中峰を過ぎ「もう少しでティ場に着ける」と思うが、小屋は近くに見えるがアップダウンが有りなかなか着かない。本日最後のアップダウン「冷乗越」を越え、少し登ると冷池山荘に到着した。水を買ってティ場へと向かうが、ティ場が遠く(10分の急登)疲れた足に鞭を打ちやっとの思いで到着した。夕食にカレーを作るが、買った水の使用法で議論する(山荘まで遠いため)もまた楽しい思い出となった。昨日の情報では朝から雨・昼頃から本降りだったが、起床し外を覗くと曇りである。支度を整え急いで出発する。雪渓を越え、布引山を目差しジグザグに登っていく。結構長い道のりであるが、サザツクのため身が軽く心も弾んでいる。布引山を通り過ぎると鹿島槍が目前に迫って来た。他のパーティが少し前にいるのを見つけ、

追いつこうとしている間に登頂と相成った。サキ場には何度も来ているが、頂上にたどり着け万感の思いである。握手で登頂を祝い、360°のパノラマを堪能する。北峰も考えるが、天候を考慮し引き返す事とした。下山を開始すると、雨が落ち始めティ場へと急ぐ。幸い本降りになる前にテントを撤収出来た。出発すると中降りになりラッキーだった。種池からの下りで飛ばし過ぎ、膝を痛めてペースダウンした事以外は最高の山行となった。

リーダー所見  
梅雨真っ只中での例会であり、天候が心配されたが、メンバーの行いがよかったのか、何とか天気が持ってくれた。結果としては、素晴らしい眺望を眺められた事、メンバー全員が怪我なく無事に下山が出来て良かった。例会にしては参加者が少なかったため、吹っ消・難易度・泊数などを工夫して、もっとたくさんのメンバーが参加出来るようにしていきたい。



確認  
(リーダー)  
岸  
10/08/02  
上  
作成  
(報告者)  
天  
10/07/29  
野